



8/1 thu - 6 tue

at ぎゃらりい 宮郷

主催 広島県知的障害者福祉協会

2019



この作品展は障害のある方のアートを広く知ってもらおうと企画したものです。

この作品展は、障がいのある人達の作品を多くの人に知ってもらおうと、広島県知的障害者福祉協会事業部文化・芸術活動の部が、企画するものです。文化・芸術の部では、平成27年1月から、鞆の津ミュージアム（福山市）で「どや、〇〇じゃろ！」展を開催し第6回を迎えます。この6回展は令和元年7月6日（土）から3週間開催されます。開催回数を重ねる中で、広島県内の施設だけでなく個人の応募も増え、障がいのある人たちの多くの作品が世に出る貴重な機会となっています。こうした活動の場を広島県西部にも広げたいと、宮島町を新たな拠点とし、ぎやらりい宮郷に会場を引き受けていただきました。「なぜ、宮島か?」「宮島とはそういうところよ」と、ぎやらりい宮郷の奥様はおっしゃいました。この土地の持つ不思議な力に導かれて、この作品展は開催されています。

主催者

さて、第4回を迎える「わたしは花」展では、上記の通り、障がいのある人の中でも、知的障害を持つ人を中心とした作品が展示されます。「知的障害とは何だろう?」と、日々、私達は自問しながら、生活と活動の支援に携わっており、それがやがて煮詰まって、作品展という形で現れるのだと思います。

アートや文化、芸術という概念と同じように、知的障害や福祉にも人の数だけ答があります。一人ひとりが答なのだ利用者から教えられる毎日です。そうして得た答を作品として展示することにより、作品を鑑賞する方々から新たな視点やヒントをいただく機会となり、回を重ねるごとに、私達は考えを深め、また日常に帰っていくことができます。このサイクルを繰り返していくことによって、利用者にとっての良き理解者でいたいと願います。イベントでは、音やカラダを使ったコミュニケーションでもって、新しい表現の創造を試みます。是非、ご参加ください。

広島県知的障害者福祉協会事業部文化・芸術活動の部圏域委員
社会福祉法人三矢会太田川学園アート・ディレクター 羽鳥智裕

わたしは花

主催 広島県知的障害者福祉協会

performannce

8/6 (火) 13:00~14:00

最終日に交流会とともにライブ・パフォーマンスを行います。ゲストパフォーマーが、作品から受けるインスピレーションをもとに空間を再構築していきます。

special guest 大槻オサム Hyo-tami
山本 啓太 川口 賢哉

期間：令和元年8月1日（木）～6日（火）

時間：10：00～18：30

*初日は12:00開場、最終日は16:00まで

会場：ぎやらりい宮郷

住所：宮島 町家通り（宮島町幸町東表476）

電話：082 944 2608

